

## 【重点分野－2】2024 春季生活闘争 第4回中央闘争委員会確認事項

連合は、本日開催した2024 春季生活闘争の第4回中央闘争委員会において今後の進め方を協議し、以下の通り確認した。

### I. 最近の特徴的な動き

- ・ 内閣府の月例経済報告（2月21日公表）は、個人消費の低迷により、景気判断について「このところ足踏みもみられるものの、緩やかに回復している」と3カ月ぶりに下方修正した。先行きについては、「雇用・所得環境が改善する下で、…緩やかな回復が続くことが期待される」としている。「企業収益は、総じてみれば改善」、「企業の業況判断は、改善」している中、労務費を含めた適切な価格転嫁と昨年を上回る賃上げを実現し、賃金と物価の好循環を回していくことが重要である。
- ・ 2月27日に総務省が公表した2024年1月分の消費者物価指数は、対前年比で総合2.2%上昇、生鮮食品を除く総合（コア）は2.0%上昇であった。3月4日に財務省が公表した2023年10-12月期の「法人企業統計調査」によれば、金融・保険業を除く全産業の経常利益は対前年比13.0%増と4四半期連続のプラスであった。
- ・ 2024年度予算案の審議は、政治倫理審議会の開催をめぐる難航し、議論が十分に深まらないまま、3月2日、衆議院で可決され、参議院へ送られた。これに先立つ中央公聴会が2月29日に開催され、清水事務局長が公述人として、賃上げ、税制改革、子ども・子育て支援など幅広い意見を述べ、質疑に対応した。
- ・ 2月22日、都内で2,000人規模の連合アクションデモを実施し、「みんなで賃上げ。ステージを変えよう！」というスローガンのもと、昨年を上回る賃上げの必要性について世論喚起した。同日、多くの地方連合会も街宣行動などを実施し、各地域での機運醸成をはかった。また、3月1日、都内で街宣活動と政策制度要求実現集会を実施した。
- ・ 賃上げに向けた社会的機運の醸成をはかるための地方版政労使会議は、約3/4の都道府県で開催済み（2024.3.1までに開催日決定済45、うち開催済36、開催日調整中2）。
- ・ 芳野会長は2月27日、新しい資本主義実現会議において、マクロ経済と国民生活の向上に資する賃上げについて、国民が明るい未来をイメージできるよう、大きな視点から分かりやすくメッセージを発信していくべきだと主張した。

### II. 要求状況について

要求集計の結果は、3月7日に公表予定。

### III. 交渉状況について

多くの組合が2月末までに要求書を提出し、交渉が本格化している。これまでの交渉で経営側は、いまデフレからの完全脱却と経済の好循環に向けて重要な局面に

あるとの認識を示すとともに、物価上昇に対する対応が社会的に求められていること、産業・企業の持続的な発展には「人への投資」を継続していくことが重要であることなどについては、総じて理解を示している。先行する組合では、要求に沿った回答を引きだしたところもある。

賃上げ要求の前段あるいは並行する形で労務費を含めた適切な価格転嫁を求める動きも強まっている。経営側は、一定の理解を示しているところがある一方、賃上げ原資を継続的に確保するためには生産性の向上が不可欠との意見もある。

#### IV. 今後の進め方について

連合・構成組織・加盟組合・地方連合会は一層の連携を強め、賃上げの世論醸成に向けた積極的な情報発信などに取り組む。また、要求趣旨に沿った回答を引き出すべく、以下の点を強く主張し、粘り強く交渉を展開していく。

- ・ 賃上げによって、働く仲間の生活の安心・安定を確保すること、頑張りに報い働きがいを向上させること、人材の確保・定着をはかることなどが必要である。
- ・ 物価が高止まりする中で、賃金が物価に追いつかない状況が長く続けば内需の6割を占める個人消費の低迷に歯止めがかからず、世界経済の減速とあいまって深刻な不況を招く恐れがある。物価を上回る可処分所得増を確保する必要がある。
- ・ 中小企業および有期・短時間・契約等で働く労働者を含め、これまで以上に月例賃金の改善と「人への投資」にこだわった交渉を粘り強く進め、最大限の回答を引き出し、労働組合のない職場で働く労働者も含め、すべての働く者の生活向上に向けた賃上げの社会的に広がりのある運動を展開していくことが、我々の責務である。

#### V. 当面の日程

##### 1. 機関会議

2024年 3月 7日	第4回中央闘争委員会（第6回中央執行委員会後）
11日	第5回戦術委員会

##### 2. 諸行動

2024年 ~4月	経営者団体との意見交換
3月 8日	2024春季生活闘争 3.8国際女性デー 全国統一行動・中央集会
4月 5日	2024春季生活闘争 4.5中小組合支援共闘推進集会、街宣行動

##### 3. 情報発信

2024年 3月 7日	2024春季生活闘争 要求集計結果公表 (第6回中央執行委員会・第4回中央闘争委員会後 定例記者会見)
15日	2024春季生活闘争 第1回回答集計結果公表 および共闘連絡会議合同記者会見
22日	2024春季生活闘争 第2回回答集計結果公表

4月 4日

2024春季生活闘争

および記者会見

第3回回答集計結果公表

および共闘連絡会議合同記者会見

以 上